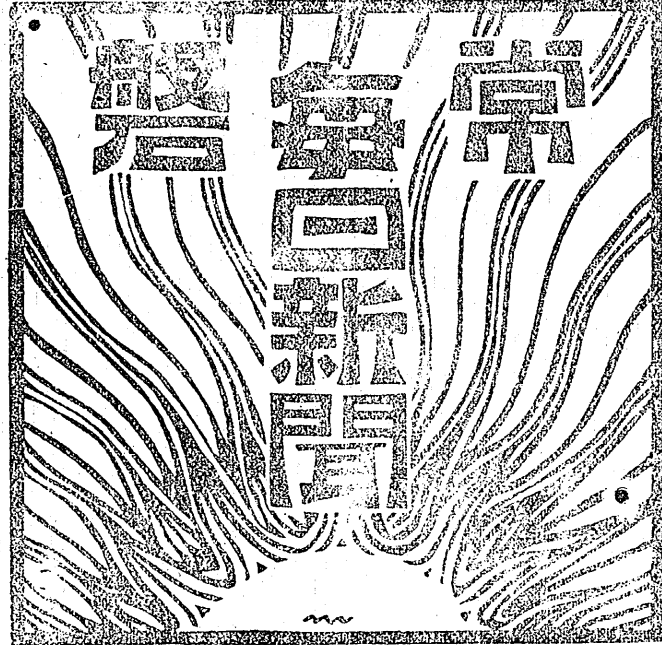


發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 本報印刷部
福島縣石城郡長橋町十一番地



刊夕日八十月九

定部金貳圓 廣告費五號十二行
郵税五厘 印刷費五號十二行
電話六三〇番

常盤每日新聞
虫歯豫防は國家的事業
齒科醫原精一

私も醫院の待合室に居られる患者さんあなた方はハの痛みの苦しさをしみく味ははれた方々です。そしてそれを救つて貰ふべく齒科醫の門をお遣入りになつたお方です。ハの病氣の苦しさを逃れやうとなさるお心持再び痛まないやうにと祈らる。お心持、完全な齒でおいしく食物を頂きたいと

自由を與へないことに心掛けて下さい。お母あさんが子供のハは、お母あさんが自分の身を削つて作りあげたものであります。そしてその子供の健康の上に大切な武器となるものです。生れて六ヶ月位たつた時「まだハが生えぬ」「ハが生えだりした時の心持を忘れずに常に子供のハに注意して下さい。それはすべての病氣の中で一つ完全に豫防することの出来るのはハの病氣で早期診断に依つて適當なハの衛生法を齒科醫は親切に教へるに違ひありません (つづく)

代價拾錢 藤田家傳
目正明丹
藤田榮助
平町町電話三六番

御注意
皆さん今が一番御自愛の時
寢冷など殊に御用心遊ばせ
四丁目ツルヤには多種多様の胴巻が取揃へて御座います
価格は一圓より四圓位まで
ツルヤ
電話一四〇

霜降小會
通學服
寸法各種
電話二〇三番
ふかや洋服店

カフエースズラン
電話一四五番

謹啓拙者儀豫而小疴の爲め久しく引籠り
静養中の處既に恢復仕候間明拾八日より
從前の通り診療に從事致可候
右御挨拶申述候 敬具
九月十七日
平町紺屋町
藤沼醫院
藤沼平次郎
(電話五〇七番)

購買會ハ
第二回 八十二台ノ御同情
第三回 百十四台
「同自轉車ノ眞價ハ一度乗ツタ御方ニ御聞キ下サイ」今回ハ第四回目デス現品先渡モ御相談シマス
是非御入會ヲ願ヒマス
エビスヤ自轉車店

自轉車
エビスヤ自轉車店

黄金神社
金華山御參詣船
鹽釜 午前六時半分 金華山 午前九時半分
金華山 午前九時半分 鹽釜 午後二時半分
金華山 午後四時半分 鹽釜 午後七時半分
女川 午前十一時 女川 午前十二時
石巻女川間は汽船發着都度自動車連絡
鹽釜金華山往復 金貳圓五拾錢
石巻廻り自動車汽船賃共金參圓

手拭、消防被服 專染所
印半天、風呂敷
吉田染屋工場
平町五丁目
電話五五八番

粹な江戸形 染物と洗張
南染物店
平町古鍛冶町
東京町七ノ廿

實質本位
平吉家
町田吉家
田部具
通店
電話三五二番

御定食
錢十五前人一御
御香燒吸さし
飯の物肴物み
うざん。そば
うなぎ。天井
親子井。五もく
料理まつや
平町長橋町

一家四十六名の…… 大家族の仲睦まじく

農業に従事する
▽……石城郡から視察に
この大家族を率ゐる
働いて みるので家
計もすこぶる豊である、稲
作は一反歩平均二石四斗の
收穫であるが昨年は三石二
斗づゝの收穫であり本年は
二石八斗の豫想であるとい
ふ、同家は先代惣八氏が新
潟縣から移住してこゝへく
血族
結婚で あるが漸次
弊害を認めらるゝので財産
は依然共有として置き兩三
年後には分家する方針らし
く一家は信仰心極めて厚く
毎年成績の優秀な一夫婦を
選抜して京都本願寺詣りを
なさしむるなど面白い表彰
の方法を試みてゐる

虎疫を極度に警戒

平驛頭に消毒設備……
隣縣茨城の助川にコレラ患
者が発生した事に依つて平
町は同疫に對する警戒が極
度に緊張した、即ち早速持
ち合せの豫防注射液を左記
各醫院に配附し
南町酒井國三郎、同根本
莊次郎、同大森勇、紺屋
町藤沼平次郎、南白銀町
清水廣政、古鍛冶町矢吹
大輔、田町市原卯太郎、
同高久忠、同羽岡平三郎
希望者に豫防注射を受けし
め向北里研究所に電報を以
つて取敢す一千人分の注射

故齊藤博士の奇僻 (一)

磐中第六回卒業生 市原 陸 朗
御氣の毒にも羅紗刷毛、天
皇さま、ピンヘット、其他
鳥渡明記を憚る紳號を頂ひ
た先生方も有つたが如うに
記憶します、氏の戯稱によ
つても
如何に 君が温厚に
して醫學の士で有つたかが
想像されるでせう
尙此君子さまが時偶戯れは
こる如き際にアウ〜と他
人の模倣しわざる奇聲を放
ちて
仲間を 笑はし自分
も與せらるゝ事も有つた又

て居るが一層防疫方法の徹
底を期さんが爲め本日午後
二時から役場内に衛生區長
を招集して伏見町長から種
々示達する所あり又平警察
署にては本日午前は旅館、
料理店、午後は遊廓、飲食
店各
營業者を 招き檜村
署長から此際生魚は食せざ
る様注意すべし其他豫防の
方法を懇切に説き聞かした

自費を以て出福陳情

反對同盟會幹部が

香坂知事の歸りを待つ
大瀧發電所許可反對同盟會
にては香坂知事が同問題の
後任末も爲さざる間に轉任
と決せるに對し對策を構
する要ありとなし昨夜大森
副會長宅にて幹部會を開き
種々協議の結果後任知事と
の事務引継ぎに際し適當の
方法を構せられ度き旨を陳
情すべく十名の委員が町會
議員の一行と共に香坂知事
が歸郷次第自費を以つて出
縣陳情すべく決したといふ

御警衛の 巡查配置

極村平署長が
來る十月宮城縣下に舉行さ
れる特大演習御統監のため
行啓あらせらるゝ攝政宮殿
下には常警線を通過される



秋の家庭園藝 (上)

球根類 秋植込む球根類
で素人園藝家に最も扱ひよ
いものはまづチューリップ
ヒヤシンス、イキシヤ、ネ
モネ、グラジオラス等でこ

奇聲を 加へたりし

姿態をなしたり或は特異の
て悪戯する時の珍奇滑稽な
る容姿は天下一品で恐らく
五九郎、チャップリンも跳
の程名人の域に達し、此如
く稚氣慢々たる茶目氣分を
發揮したる事は
級中で は國寶視し
て珍重したもんで然れど
結晶硬化せる程眞面目にて
一木宮相に彷彿たる謹嚴さ
を示してた博士の君には嘘
構とかしか思はれざる程
相應は しからぬ事
際談で有ります、昔より人
には人辭は必ず有るもので
無くて七癖、有つて四十幾

ラズならんと平署に届出て
盛んに吐瀉して難なきを得
たが前記千吉の妻イク(二)
は昨年頃から幾分精神に異
状を呈して居るから或ひは
同人の所爲にあらずやと目
下取調べ中
藤沼醫師全快 久し
く病臥中であつた平町紺屋
町醫師藤沼平次郎氏は此程
全く快癒し本日から従前通
り診療に従事する事となつ
た

兔の耳

懸賞付きで只酒の
大振舞 長野縣上
伊那郡における酒
類醸造並びに販賣
組合では禁酒宣傳の向かう
を張つて飲酒の大宣傳をや
ることとなり十月中旬に伊那
町旭座で飲酒大演説會を開
き當日參會者には自慢の銘
酒を一般に振るまひ且飲酒
の競争をして一升飲んだも
のに五十圓二升は四十圓三
升は廿五圓の懸賞を付し酒
は百藥の長を振りまはす筈
だが兎に角めづらしい催し
である

募集

文藝其他投稿
を募集します
酒を一般に振るまひ且飲酒
の競争をして一升飲んだも
のに五十圓二升は四十圓三
升は廿五圓の懸賞を付し酒
は百藥の長を振りまはす筈
だが兎に角めづらしい催し
である

平町人事

出生
△四軒町四 當時平安南道不壤府香
野倉造氏四男政章
△材木町四四 鈴木丑松氏長女清子
△彌宜町七 大平勘助氏三男文雄
△三丁目七 加藤欽一郎氏(三一)石
城郡泉村吉田(二八)
△東京市下谷區下根岸町 加藤政義
氏(三一) 白銀町二七松本ヒサ
氏(三一)
△死亡
△鎌田町三三 川口(五三)